

ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム  
令和元年度第一回企画運営委員会議事概要

【日時】 2019年6月6日(木) 12時00分から12時45分

【場所】 情報科学C棟401室

【出席(敬称略)】 清水(委員長・情)、尾上(情)、若宮(情)、原(情)、井上(情)  
藤原(情)、増澤(情)、谷田(情)、橋本(情)、土屋(情)、伊野(情)、谷口(情)  
荒川(情)、安永(情)、岡橋(情)、細田一(情)

[遠隔参加] 石黒(基)

[事務部] 森川(情/事務長)、鐘ヶ江(情/大学院係長)、徳野(情/部門事務局長)  
谷川(情/部門事務)、井汲(情/部門事務)、嘉村(情/部門事務)

【欠席(敬称略)】 村田(情)、平岡(生)、深川(生)、細田耕(基)、小倉(情)、首藤(情)  
マハズーン(基)、岩崎(情)

### 配布資料

HWIP ホームページ教員用ページにアップします。(パスワード: HWinnovation)

### 議題

#### 1) 教務関係事項(資料あり、清水教授)

##### ①教務委員会業務担当について

・今年度以降のプログラム組織体制並びに教務委員会業務担当について説明があった。

##### ②9月修了者について

・プログラムの最終審査フローの概要説明があった

・9月修了を目指す2名から予備審査に申請があり、主査・副査で予備審査の評価が行われた状況の説明があった。併せて主査・副査の評価結果についての説明後、本委員会において最終審査に進めてよいか確認を行った。

⇒2名共に予備審査合格とし、今後は公聴会の日程調整を行って、日程が確定すれば関係教員及び企業にも通知することとした。

##### ③行事予定について

・プログラムの年間の予定(概要)について説明があった。

#### 2) 選抜関係事項(資料なし、原教授)

##### ①2019年度入学者について

・2019年度7期生については3月の合格者15名について全員履修を開始した。

15名のうち1名が6月末に本学退学に伴い履修辞退することが決まっている。

・今年度の選抜の審査委員は、継続して昨年度の委員にお願いすることとした。

なお、今年度は人間科学研究科の担当者は審査委員に含めないこととし、現状は8名。

昨年度の委員が都合により審査に加われない場合は、企業連携・審査担当の方  
にお願いする。

・Pre-QEの日程を調整中。

### 3) 海外連携関係事項（資料あり、若宮教授）

#### ①危機管理について

・今年度の危機管理体制について説明があった。

詳細についてはHPに危機管理マニュアルを掲載しているので、時間のある時に一  
読いただきたい旨の発言があった。

・履修生向けの危機管理説明会(通常年2回実施)について、今年度第1回目を5月末に  
予定していたが、受講該当者がいなかった。今後必要に応じて開催予定。

### 4) 産学官連携関係事項（資料あり、若宮教授）

#### ①学生アドバイザー面談及びインターンシップ説明会について

・7月12日（金）および19日（金）に実施予定。

学生アドバイザー面談については、一人の履修生につき、希望する企業2社及びメ  
ンター教員・特任教員との面談を実施予定(3ターム)

メンター教員に対して面談への協力依頼があった。

・日産自動車のインターンシップ説明会を実施することについて、その経緯の説明があ  
った。

また、清水教授から、履修生に奨学金を支給することになった住友化学に対して、日  
産自動車と併せて、本プログラムの連携企業として加わるか否かを聞きたいと考えて  
いる旨の発言があった。

### 5) 広報企画関係事項（資料なし、若宮先生）

#### ①HPについて

・プログラムホームページについて、新入生の入学や組織改編に合わせた現在の進捗状  
況について報告があった。

### 6) その他

#### ①予算について（資料なし、清水教授）

・今年度より大阪大学運営費交付金(総長裁量経費ではなく機能強化経費)で、運営費  
9.2千万円(うち2千万円は履修生への給付奨学金)の交付がある旨の報告があった。

来年度以降について金額はわからないが、今中期計画・中期目標の間は保証される見  
込み。

今年度の予算でこれまでの活動はほぼ制限することなく実施可能の見込みで、昨年

度からの教務活動その他を含め、全て継続する方針。今年度実施していくなかで、改善すべきところがあれば見直していく。

②2020年度入試について（資料なし、清水教授）

・昨年度までの教務の内容を大きく変えないようにして、1年経って必要ない事項を考え、その際に新1年生を募集するかどうかを検討する。

③マッチングイベントについて（資料なし、若宮教授 広報関係での追加報告）

・今年度も昨年度と同様のマッチングイベントを実施する方向で検討中。産学共創本部のイベントが11月7日にあるため、その前後として11月6日(水)で実施を調整。

・電子情報技術産業協会 JEITA から本学との連携について案内があった。プログラムとして連携できる(有効に活用できる)アイデアがあれば取り次ぐので連絡をいただきたい旨の発言があった。

④オナー大学院について（資料なし、藤原教授）

・理・工・基礎工・情報の博士後期課程への進学を考えている学生を対象に博士前期課程2年から履修開始となる博士教育プログラムが発足予定で、博士前期課程1年を対象に今秋説明会を実施予定。

本プログラムもオナー大学院のひとつのプログラムになっているが、リーディングプログラムとして運営している間は独立して活動する。

次回：9月5日（木） 12:00-13:00 情報科学研究科 C棟4階 C401